



■実践内容:

南中学校では、横浜市・150万本植樹行動の一環として、生徒会環境委員会および校内のボランティア組織アジサイクラブの生徒が中心となり、地球温暖化の原因であるCO₂の削減に向けた取り組みを行いました。実践した内容は、「未来」という珍しい品種のアジサイを中心に、生徒がさし木から育てた苗を地域の方に配布したり、地域からの要請を受け、学校付近の街路樹の根元に、さし木から大切に育てたアジサイを植樹したり、校内にもたくさんの花やアジサイを植えました。また、毎年行っている総合学習の「環境教育」の時間で、手作りのVTRやワークシートを使って、昨年度から今年10月までの活動を全校生徒に紹介し、「緑の大切さ」について学習しました。

■実践成果:

地域と共に生きる子ども達にとって、これらの活動を通して、「緑の大切さ」について理解を深め、学校の花やアジサイ等の植物を大切にしようという気持ちが強くなりました。また、VTRで取り組み活動を詳しく紹介したことで、地球温暖化の原因であるCO₂の削減に少しでも協力したいという生徒が180人以上も現れ、現在50人の生徒が実際に自宅にアジサイの苗を持ち帰り、大切に育てています。また、地域にも「緑化の輪」が確実に広がっています。

■実践ポイント:

代表生徒が自主的に活動する場面を全校生徒にVTRで紹介することで、「緑化の輪」が地域だけでなく、全校の生徒たちにも確実に広がる効果がありました。